

まつ の あけ み
松野明美
講演会

Matsuno Akemi

演 題

「私の
マラソン人生」

定員
600名
入場無料

- 努力の積み重ねや夢を持つ人生の大切さ
- 両親の笑顔と「いちばんを目指す人生」の始まり
- 子育てを通じて得たもの
「人生は人との競争じゃない
いちばんじゃなくてもいい」

講師

元オリンピックランナー・参議院議員

まつ の あけ み
松野 明美 氏

2026年

10月31日 **土** 開演 **14:00**
(開場 13:30)

会場

勝央文化ホール

(岡山県勝田郡勝央町勝間田211-1)

Profile

まつ の あけ み
松野 明美

- 元オリンピックランナー
- 参議院議員

1968年、熊本県生まれ。

駆け足が遅く、いじめられっ子でおとなしい性格だったが、小学校5年生のときに出場した町内陸上大会で優勝。1位でゴールしたときの両親の笑顔がうれしくて、マラソンに目覚め、「いちばんを目指す人生」が始まる。

高校卒業後、ニコニコ堂に入社し、陸上部に所属。

1987年、全日本実業団対抗女子駅伝に初出場し、12人をごぼう抜きする。これにより一躍注目のランナーとなる。

1988年、ソウル・オリンピック10000m競技に出場。

人の2倍、3倍、それでもだめなら4倍の猛練習をし、数々の記録を残す。引退後、結婚し、2002年、長男・輝仁(きらと)が誕生。翌年、次男・健太郎がダウン症という障がいを持って生まれる。「明るく元気な松野明美」のイメージが崩れてはいけなくて健太郎を一生懸命と決心するが、日々の成長や笑顔が、著者の心を少しずつ変化させる。健太郎の子育てを通じて、「人生は人との競争じゃない、いちばんじゃなくてもいい」と気づかされる。

現在は、自身のマラソンや子育ての経験をもとに、講演、タレント、ゲストランナーなど幅広く活動をする。2022年7月には参議院議員選挙に初当選し国会議員となる。

<著書> 「いちばんじゃなくて、いいんだね。」(アスコム刊)
www.matsunoakemi.net/kouen.html

【主催】公益財団法人 金太郎スポーツ振興財団

【共催】勝央町教育委員会・勝央町PTA連合会 【後援】勝央町スポーツ協会

【お問い合わせ】勝央町教育委員会 TEL (0868) 38-1753

講師

元オリンピックランナー・参議院議員

まつのあけみ

松野 明美



<経歴>

1968年	熊本県生まれ
1987年	熊本県立鹿本高等学校卒業（陸上部所属）
1987年	ニコニコ堂入社（ニコニコ堂女子陸上部発足）
1995年	現役引退
1997年	熊本県民テレビのキャスターをつとめる
1999年	ニコニコ堂女子陸上部の休部に伴い、 ニコニコ堂を退社 独立して「松野明美ヒューマンライフ」を設立 現在、講演やTV・タレント活動等幅広く活躍中
2010年 4月	熊本市議会議員となる
2015年 4月	熊本県議会議員に初当選
2019年 4月	熊本県議会議員に再選、2期目
2022年 7月	参議院議員選挙に初当選

<主な競技暦>

1985年12月	高校2年生のとき、全国都道府県対抗女子駅伝 県代表に選抜
1986年 6月	高校3年生のとき、インターハイ県予選 3000m 10分2秒0 インターハイ南九州予選 3000m（失格）
1987年 4月	海邦国体 5000m 優勝 16分35秒64 全日本実業団対抗女子駅伝 10km 区間賞 32分17秒（12人抜き）
1988年 5月	兵庫リレーカーニバル 10000m 優勝 32分57秒89 （ソウルオリンピック標準記録突破）
1988年 6月	日本陸上競技選手権大会（日本選手権） 10000m 優勝 32分53秒75 ソウルオリンピック予選 9位 10000m 32分19秒57（日本新記録）
1989年 4月	熊本県選手権 10000m 31分54秒00（日本新記録）
1990年 9月	アジア競技大会（北京） 10000m 3位 31分56秒93
6月	日本陸上競技選手権大会（日本選手権） 10000m 優勝 32分18秒71
1992年 1月	大阪国際女子マラソン 2位 2時間27分02秒
1993年 3月	名古屋国際女子マラソン 2位 2時間27分53秒 世界陸上競技選手権大会 マラソン 11位（日本代表）

<ベスト記録>

5000m	15分45秒（当時 熊本県記録）
10000m	31分54秒（当時 日本記録：日本人初の31分台）
マラソン	2時間27分02秒（当時 日本・アジア最高、初マラソン世界新）

<著書>

「いちばんじゃなくて、いいんだね。」（アスコム刊） www.matsunoakemi.net/kouen.html